

次世代のデザイナーを発掘する“デザイン・スクール・プロジェクト”第5弾 チェコの伝統ガラス工芸とモダンアートが融合した幾何学的デザイン

<スフィア>

SPHERE

『プレート23cm』『プレート32cm』

『ボウル25cm』『ボウル30cm』

発売日：2014年6月11日(水)



2014年6月、ドイツのライフスタイルブランド「ナハトマン」を展開するRSN Japan株式会社(本社：東京都港区、代表取締役社長：ウォルフガング・アンギェル)は、次世代を担うチェコの若きデザイナーによって創作された新シリーズ<スフィア>を発売いたします。



1834年にドイツのバイエルン地方で誕生し、180年以上もの間、高い技術力を受け継ぐライフスタイルブランド、ナハトマン。2007年からは将来性のあるデザイナーを発掘し、その可能性を最大限に広げる育成事業として“Next Generation ～デザイン・スクール・プロジェクト～”を行っています。初回はニューヨークの有名デザインスクール、パーソンズ・スクール・オブ・デザイン(Parsons School of Design)とタッグを組み、実際に商品化される製品のデザインが授業カリキュラムに組み込まれました。こうして最優秀賞に選ばれた学生の作品は、2008年に全世界で発売され、産学共同プロジェクトの成功例として注目を集めました。その後、2011年はニューヨークのプラット・インスティテュード(PRATT Institute)、2012年はストックホルムのコンストファック(Konstfack, University College of Art, Craft and Design)、2013年は日本の武蔵野美術大学とのコラボレーションでそれぞれ選ばれた学生の作品が商品化され、次世代を担うデザイナーたちに活躍の機会を提供し続けています。

今回で5回目となるこのプロジェクトのパートナーには、チェコ共和国の首都プラハにある美術大学、アカデミー・オブ・アーツ・アーキテクチャー・アンド・デザイン(The Academy of Arts, Architecture & Design)が選ばれ、ロマン・クビタ(Roman Kvita)による作品<スフィア>が見事最優秀賞に輝きました。

<スフィア> SPHERE

英語で「球体」を意味する“スフィア”。古くからガラス工芸で知られるチェコ共和国の美大生ロマン・クビタによるこの作品は、伝統的な手吹き技術で、溶けたガラスの塊に息を吹き込んだ時に形作られる美しい球体“スフィア”からインスピレーションを受けて生み出されました。チェコの偉大なガラスデザイナーたちに強い影響を受けたというロマン・クビタは、世界に誇る伝統的な技術と、最先端の機械による精巧なプレス技術を融合させることを目標に定め、想像を膨らませました。



Roman Kvita
from Academy of Arts, Architecture
and Design, Prague

大小異なる球面の重なりで編み出される幾何学的なデザインは、複雑に生み出される光の反射を生み出します。一見すると重厚なデザインですが、手に取ると見た目よりも軽く、とても使いやすい製品になっています。また、器自体の存在感とは裏腹に、料理を乗せると美しい輝きで主役を照らし出す名脇役に一変します。

プレートとボウルそれぞれを、ナハトマンのテーブルウェアの中でも特に使い勝手がいいと好評の各2サイズでご用意いたしました。幾何学的なデザインで印象的なテーブルコーディネートを演出してくれるこれらのアイテムは、普段の食卓の中にもアクセントを添えてくれます。また、1枚でも充分インパクトのあるアートなプレートとして、お料理好きな方へのギフトとしてもおすすめです。

素材：クリスタリン マシンメイド



製品名	品番	価格 (円) 本体価格	価格 (円) 税込価格	サイズ (cm)
<スフィア> サラダプレート23cm (2個入)	93628	3,000	3,240	23
<スフィア> チャージャープレート 32cm	93625	3,500	3,780	32
<スフィア> ボウル 25cm (2個入)	93623	6,000	6,480	25
<スフィア> ボウル 30cm	93624	5,000	5,400	30